

## 平成29年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年8月3日

上場会社名 キリンホールディングス株式会社 上場取引所 東・名・札・福

コード番号 2503 URL <http://www.kirinholdings.co.jp/>

代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 磯崎 功典

問合せ先責任者(役職名) グループコーポレートコミュニケーション担当 (氏名) 藤原 哲也 (TEL) 03-6837-7015  
ディレクター

四半期報告書提出予定日 平成29年8月8日 配当支払開始予定日 平成29年9月5日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・証券アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成29年12月期第2四半期の連結業績(平成29年1月1日～平成29年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年12月期第2四半期	961,745	△4.6	79,797	35.7	79,230	36.3	83,408	146.6
28年12月期第2四半期	1,008,149	△5.8	58,818	1.5	58,144	1.5	33,826	2.1

(注) 包括利益 29年12月期第2四半期 211,226百万円(―) 28年12月期第2四半期 △23,580百万円(―)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年12月期第2四半期	91.40	91.39
28年12月期第2四半期	37.07	37.06

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年12月期第2四半期	2,261,657	1,130,868	38.1
28年12月期	2,348,166	946,083	29.0

(参考) 自己資本 29年12月期第2四半期 861,876百万円 28年12月期 680,662百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年12月期	—	19.00	—	20.00	39.00
29年12月期	—	20.50			
29年12月期(予想)			—	20.50	41.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

### 3. 平成29年12月期の連結業績予想(平成29年1月1日～平成29年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,970,000	△5.1	152,000	7.1	156,000	10.9	114,000	△3.5	124.92

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 有

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社 (社名) 、除外 5社 (社名) Brasil Kirin Holding S.A.  
 Brasil Kirin Participacoes e Representacoes Ltda.  
 Brasil Kirin Industria de Bebidas Ltda.  
 Brasil Kirin Bebidas Ltda.  
 Lion Nathan Enterprises Pty Limited

(注) 詳細は、添付資料P7「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動」をご覧ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料P7「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

- ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数 (四半期累計)

29年12月期2Q	914,000,000株	28年12月期	914,000,000株
29年12月期2Q	1,382,834株	28年12月期	1,484,147株
29年12月期2Q	912,547,582株	28年12月期2Q	912,526,171株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(1) 本資料に掲載されている業績予想に関する記述は、当社および当グループが本資料の発表日現在で入手可能な情報から得られた判断に基づいていますが、リスクや不確実性を含んでいます。実際の業績は、当社および当グループの事業をとりまく経済情勢、市場動向、為替レートなどに関わる様々な要因により、記述されている業績予想とは大幅に異なる可能性があることをご承知おきください。

(2) 決算補足説明資料は本日8月3日(木)に、また、8月4日(金)開催の決算説明会における資料・説明内容(動画)・主な質疑応答については速やかに、当社ホームページに掲載いたします。

(当社ホームページURL)

<http://www.kirinholdings.co.jp/irinfo/event/explain/index.html>

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	6
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	6
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	7
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	7
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	7
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	7
3. 四半期連結財務諸表 .....	8
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	8
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	10
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	10
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	11
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	12
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	14
(継続企業の前提に関する注記) .....	14
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	14
(セグメント情報等) .....	14
(追加情報) .....	15

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間（平成29年1月1日～平成29年6月30日）における世界経済は、海外政治・経済情勢の不透明感がやや緩和して国際金融市場が安定してきたことに加え、世界各国で景気が持ち直す動きが見られ、緩やかに回復しました。

わが国経済は、世界経済の緩やかな回復に加え、為替の安定と企業収益、雇用、所得環境の改善を背景として、全体としては緩やかな回復基調で推移したものの、節約志向が根付いている個人消費の回復にはまだ鈍さが見られました。

キリングroupでは、社会とともに持続的に成長することを目指す長期経営構想「新キリン・グループ・ビジョン2021」の実現に向け、「キリングroup2016年－2018年中期経営計画」（略称：2016年中計）で掲げた3つの重点課題への取り組みを一段と進め、構造改革によるキリングroupの再生を目指しました。さらに、事業との関係が深い“健康”“地域社会への貢献”“環境”をキリングroupが長期的に取り組むCSV<sup>\*</sup>重点課題とした「グループCSVコミットメント」を策定し、これらの課題の解決に向けた取り組みを進めました。

当連結累計期間での連結売上高は、ライオン社酒類事業での販売数量減少やブラジルキリン社を第2四半期期首に連結対象から除外した影響等により、前年と比べて減少しました。連結営業利益は、日本総合飲料事業と医薬・バイオケミカル事業の増益により前年と比べて大幅に増加し、連結経常利益も増加しました。親会社株主に帰属する四半期純利益は、連結営業利益の増加に加え、ブラジルキリン社の株式譲渡と広島県に所有する商業施設の土地及び建物等の固定資産の譲渡により、前年と比べて大幅に増加しました。

※ CSV：Creating Shared Valueの略で、社会課題への取り組みによる“社会的価値の創造”及び“経済的価値の創造”の両立により、企業価値向上を実現することです。

連結売上高	9,617億円（前年同期比	4.6%減）
連結営業利益	797億円（前年同期比	35.7%増）
連結経常利益	792億円（前年同期比	36.3%増）
連結第2四半期純利益 ※1	834億円（前年同期比	146.6%増）
（参考）		
平準化EPS ※2	75円（前年同期比	41.5%増）

※1 「親会社株主に帰属する四半期純利益」を指しております。

※2 平準化：特別損益等の非経常項目を除外し、より実質的な収益力を反映させるための調整

平準化EPS = 平準化四半期純利益 / 期中平均株式数

平準化四半期純利益 = 四半期純利益 + のれん等償却額 ± 税金等調整後特別損益

なお、平準化EPSは円未満四捨五入により算出しております。

セグメント別の業績は次のとおりです。

## 〈日本総合飲料事業〉

キリンビール(株)は、2016年中計の期間を“V字回復を本物にする3年間”と位置付け、誰よりもお客様のことを一番考える会社を目指して、キリンならではの価値創造を進めました。さらに、6月の酒税法等の改正を見据えつつ、年初から先行して酒類の公正な取引を推進する取り組みに着手するとともに、酒類市場全体の需要を喚起する活動を実施してきました。ビールカテゴリーでは、地域活性化に貢献しつつビールカテゴリーの魅力化を目指した「47都道府県の一番搾り」の再発売や四季の風情を感じられる季節限定品の発売等を通じて、主力である「一番搾り」ブランド商品の販売に注力しました。新ジャンルカテゴリーでは、主力商品「キリン のどごしく生」のリニューアルに加え、麦由来の原料のみを使用した上質な商品として「キリン のどごしスペシャルタイム」を発売し、「のどごし」ブランドの強化に取り組みました。しかしながら、ビール類の市場が縮小する中、酒類の公正な取引に関する取り組みの先行実施に伴うビール類の価格上昇の影響も受け、ビール類全体の販売数量は減少しました。一方で、市場の伸びが続くRTD<sup>\*</sup>カテゴリーでは、リニューアルをした「キリン 氷結ストロング」シリーズの商品の販売が大変好調で、かつ「キリン 本搾り<sub>m</sub>チューハイ」の販売数量も前年増となり、RTD全体の販売数量は

前年よりも増加しました。ノンアルコール飲料市場での再成長を目指して4月に発売したノンアルコール・ビールテイスト飲料「キリン 零ICHI（ゼロイチ）」も大変好調で、当第2四半期のうちに年間販売予定数の約半分を販売しました。

メルシャン㈱では、ワイン市場全体の持続的な拡大を目指し、カテゴリーごとに注力ブランドを絞ったマーケティング活動を進めました。フラッグシップブランド「シャトー・メルシャン」は、海外の著名なコンクールで複数受賞して日本ワインとしての評価を高めたことに加え、5月から香港への輸出も開始しました。国内製造ワインにおける主力商品「おいしい酸化防止剤無添加ワイン」の販売好調、輸入ワインにおけるチリワインの主力商品「フロンテラ」、注力商品「カッセル・デル・ディアブロ」のマーケティング活動の実施等により、ワイン全体の販売数量は増加しました。

キリンビバレッジ㈱では、持続的な利益ある成長の実現に向けて、強固なブランド体系の構築と収益性の高い事業構造への転換を、一段と進めました。基盤ブランド「キリン 午後の紅茶」では、「キリン 午後の紅茶 おいしい無糖」のリニューアルや季節限定商品の発売を通じて、紅茶の新たな魅力を提案しました。強化を進める「キリン 生茶」ブランドについては、従来よりも小容量のPET容器の商品や、特許技術でカフェインを除去した「キリン 生茶デカフェ」の発売により、お客様の飲用シーンの拡大を図りました。また、重要な販売チャネルである自動販売機において、LINE株式会社と連携したコミュニケーションサービス「タピネス」を開始し、お客様に自動販売機を介した新たな価値を提案しました。これらの取り組みの結果、大型PET容器の水について昨年の需要増加による反動等はありませんでしたが、注力ブランドの「午後の紅茶」や「生茶」の販売数量が増加した結果、飲料全体の販売数量はほぼ前年並みでした。さらに、お客様のライフスタイル変化への対応や収益性向上を目指し、引き続き缶・小型PET容器を中心とした販売目標管理やSCMコスト削減に取り組みました。

これらの結果、日本総合飲料事業では、キリンビバレッジ㈱で前第1四半期連結会計期間に費用として計上していた一部販売費を売上高から控除した影響により減収となったものの、各事業会社で収益性改善の取り組みが進んだことにより増益となりました。

※ RTD：栓を開けてそのまま飲める低アルコール飲料で、Ready to Drinkの略です。

日本総合飲料事業連結売上高	5,259億円（前年同期比	1.3%減）
日本総合飲料事業連結営業利益	308億円（前年同期比	48.7%増）

〈海外総合飲料事業〉

ライオン社酒類事業では、アンハイザー・ブッシュ・インペブ社とのビール販売ライセンス契約終了の影響によりビールの販売数量は前年よりも減少しましたが、中長期的な収益回復を目指して、基盤ブランドと成長カテゴリーの強化に取り組みました。豪州ビール市場全体の販売数量が前年比で減少する中、伸長するクラフトビールカテゴリーでは「ジェームス・スクワイア」「ファーフィー」、海外プレミアムビールカテゴリーでは「ハイネケン」の販売数量が、それぞれ前年よりも増加しました。ライオン飲料事業では、注力カテゴリーのうち特に高価格帯チーズ、ヨーグルトや、乳飲料の主力商品「デア」の販売が好調でしたが、オレンジ果汁の不足に伴う原料価格高騰の影響を受けました。一方で、生産拠点集約等のコスト構造改革や、酪農家支援プログラム推進による地域社会への貢献と乳価安定の取り組みの両立を進め、収益力の向上を目指しました。

ミャンマー・ブルワリー社では、ミャンマー市場首位のポジションをさらに盤石なものとするため、昨年構築したブランドポートフォリオに基づき、販売の強化を進めました。拡大の余地が大きい缶商品について、主力商品「ミャンマービール」と低価格帯商品「アンダマン ゴールド」の販売促進活動を実施したことで、ビール全体の販売数量は前年から大きく増加しました。高価格帯商品の「ブラックシールド」、「キリン一番搾り」、「ミャンマープレミアム」については、全国の販売網を着実に拡大しました。並行して、製造設備の増設工事を進め、旺盛なビール需要に対応するための生産体制を整えるとともに、優秀な人材の確保と育成、組織能力の強化にも取り組みました。

なお、5月に企業結合審査の届出がブラジルの競争当局である経済擁護行政委員会（CADE）に正式に承認され、ハイネケン・インターナショナル社の子会社であるババリア社に対する、ブラジルキリン社の全株式譲渡が完了しました。これにより、ブラジルキリン社については、第2四半期期首に連結対象から除外しているため、第1四半期のみを連結決算に取り込んでおります。

これらの結果、オセアニア総合飲料事業では、ライオン社酒類事業における販売数量の減少に加え、飲料事業における棚卸資産評価減とオレンジ果汁不足による原料価格高騰の影響により、減収減益となりました。海外その他総合飲料事業では、前年度に営業損失を計上したブラジルキリン社を連結対象から除外した影響と、販売が好調に推移したミャンマー・ブルワリー社の増益により、減収増益となりました。

オセアニア総合飲料事業連結売上高	1,836億円（前年同期比	10.9%減）
オセアニア総合飲料事業連結営業利益	207億円（前年同期比	17.7%減）
海外その他総合飲料事業連結売上高	697億円（前年同期比	19.5%減）
海外その他総合飲料事業連結営業利益	48億円（前年同期比	—）

〈医薬・バイオケミカル事業〉

協和発酵キリン㈱の医薬事業においては、“グローバル・スペシャリティ・ファーマへの飛躍”をテーマに、戦略課題の達成に取り組みました。国内では、持続型G-CSF製剤「ジーラスタ」<sup>※1</sup>等の新製品群の売上が堅調でしたが、医療費抑制策に伴う後発医薬品の浸透や昨年4月実施の薬価基準引き下げによる影響で、売上高は減少しました。海外では、アストラゼネカ社からの契約一時金・マイルストーン収入等と癌疼痛治療薬「Abstral」「PecFent」およびオピオイド誘発性便秘治療剤「Moventig」等の伸長により、売上は前年よりも増加しました。研究開発ではグローバル戦略品の開発が順調に進み、成人X染色体遺伝性低リン血症を対象としたKRN23<sup>※2</sup>の第Ⅲ相臨床試験や、皮膚T細胞性リンパ腫（CTCL）<sup>※3</sup>を対象としたKW-0761<sup>※4</sup>の第Ⅲ相臨床試験で、良好な結果が得られました。

バイオケミカル事業では、通信販売事業で昨年発売の「アルギニンEX」の伸長や、医薬・健食用原料の堅調な推移により、国内売上は前年並みとなりました。海外では、前年度に米州でサプリメント向け原料の集中出荷があった影響やアジアにおける一部製品の競争激化による影響により、売上高は減少しました。

これらの結果、医薬・バイオケミカル事業全体では、国内医薬品の売上が減少したものの、技術収入の増加と研究開発費の減少等により、増収増益となりました。

- ※1 ジーラスタ：がん化学療法時の重篤な副作用の1つである、発熱性好中球減少症の発症抑制に用いられる薬剤です。
- ※2 KRN23：遺伝的な原因で骨の成長・維持に障害をきたす希少な疾患である、X染色体遺伝性低リン血症等の治療薬として開発を進めております。
- ※3 皮膚T細胞性リンパ腫（CTCL）：CTCLは皮膚に生じる悪性リンパ腫の一種で、比較的まれなタイプです。悪性のTリンパ球が皮膚に局在化し、皮膚や血液、リンパ節、内臓、その他の組織に病変が現れます。
- ※4 KW-0761：CCケモカイン受容体4（CCR4）を標的とするヒト化モノクローナル抗体です。CCR4は、皮膚T細胞性リンパ腫（CTCL）を含めた特定の血液がん細胞に頻繁に発現しています。

医薬・バイオケミカル事業連結売上高	1,722億円（前年同期比	0.9%増）
医薬・バイオケミカル事業連結営業利益	256億円（前年同期比	52.3%増）

〈その他事業〉

その他事業において、小岩井乳業㈱では“小岩井らしさ”を持った商品である主力商品「小岩井 生乳（なまにゅう）100%ヨーグルト」「小岩井 生乳（なまにゅう）ヨーグルトクリーミー脂肪0（ゼロ）」の販売に注力しましたが、市場低迷の影響を受け売上高は昨年から減少しました。

その他事業全体では、小岩井乳業㈱の影響に加え、6月に当社が所有する広島県の商業施設の土地及び建物等の固定資産の譲渡により不動産賃貸料が減少したため、減収減益となりました。

その他事業連結売上高	102億円（前年同期比	12.6%減）
その他事業連結営業利益	9億円（前年同期比	21.7%減）



(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、現金及び預金の増加、受取手形及び売掛金、有形固定資産の減少等により、前連結会計年度末に比べ865億円減少して2兆2,616億円となりました。

負債は、支払手形及び買掛金、有利子負債の減少及び未払酒税（流動負債「その他」）の減少等により前連結会計年度末に比べ2,712億円減少して1兆1,307億円となりました。

純資産は、為替換算調整勘定の増加等により、前連結会計年度末に比べ1,847億円増加して1兆1,308億円となりました。

上記変動の主な要因は、ブラジル連結子会社売却によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績予想につきましては、キリンビバレッジ(株)、メルシャン(株)の営業利益の計画を上回る進捗及び医薬・バイオケミカル事業の通期連結業績予想修正を加味した結果、平成29年6月1日付で発表した平成29年12月期の連結業績予想を、下記のとおり修正しております。

【平成29年12月期の連結業績予想】

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 親会社株主に 帰属する 当期純利益
前回発表予想 (A)	1,980,000	146,000	155,000	112,000	122円74銭
今回修正予想 (B)	1,970,000	152,000	156,000	114,000	124円92銭
増減額 (B - A)	△10,000	6,000	1,000	2,000	—
増減率 (%)	△0.5	4.1	0.6	1.8	—
前期実績 (平成28年12月期)	2,075,070	141,889	140,676	118,158	129円49銭



## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

### （1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

当第2四半期連結会計期間において、特定子会社のBrasil Kirin Holding S.A.、Brasil Kirin Participacoes e Representacoes Ltda.、Brasil Kirin Industria de Bebidas Ltda.、Brasil Kirin Bebidas Ltda. 及び Lion Nathan Enterprises Pty Limitedは売却により、連結の範囲から除外いたしました。

### （2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

#### 税金費用の計算

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

### （3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	58,990	167,797
受取手形及び売掛金	393,500	309,853
商品及び製品	135,335	132,145
仕掛品	25,229	22,962
原材料及び貯蔵品	47,045	40,032
その他	93,493	138,120
貸倒引当金	△5,445	△1,109
流動資産合計	748,148	809,803
固定資産		
有形固定資産	705,204	602,707
無形固定資産		
のれん	228,983	229,688
その他	172,927	146,349
無形固定資産合計	401,910	376,037
投資その他の資産		
投資有価証券	396,057	405,834
退職給付に係る資産	9,432	9,901
その他	92,630	62,597
貸倒引当金	△5,216	△5,224
投資その他の資産合計	492,904	473,109
固定資産合計	1,600,018	1,451,854
資産合計	2,348,166	2,261,657

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	135,801	104,018
短期借入金	89,934	103,988
コマーシャル・ペーパー	45,000	—
1年内償還予定の社債	—	69,998
未払法人税等	21,162	13,298
引当金	10,073	9,365
その他	348,410	248,122
流動負債合計	650,382	548,792
固定負債		
社債	194,994	124,996
長期借入金	318,712	272,795
訴訟損失引当金	20,299	—
その他の引当金	7,121	6,877
退職給付に係る負債	67,390	65,478
その他	143,182	111,848
固定負債合計	751,700	581,996
負債合計	1,402,082	1,130,788
純資産の部		
株主資本		
資本金	102,045	102,045
資本剰余金	2	77
利益剰余金	629,024	694,096
自己株式	△2,126	△1,989
株主資本合計	728,945	794,229
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	60,170	66,108
繰延ヘッジ損益	△1,170	△70
土地再評価差額金	△1,959	△1,959
為替換算調整勘定	△86,607	20,747
退職給付に係る調整累計額	△18,716	△17,179
その他の包括利益累計額合計	△48,282	67,646
新株予約権	562	568
非支配株主持分	264,859	268,423
純資産合計	946,083	1,130,868
負債純資産合計	2,348,166	2,261,657

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年6月30日)
売上高	1,008,149	961,745
売上原価	562,962	522,852
売上総利益	445,186	438,892
販売費及び一般管理費	386,368	359,094
営業利益	58,818	79,797
営業外収益		
受取利息	1,793	1,513
受取配当金	1,487	1,492
持分法による投資利益	6,668	7,235
その他	3,661	1,361
営業外収益合計	13,611	11,604
営業外費用		
支払利息	7,281	4,580
為替差損	4,493	4,973
その他	2,510	2,617
営業外費用合計	14,285	12,171
経常利益	58,144	79,230
特別利益		
固定資産売却益	7,922	31,649
投資有価証券売却益	7,086	198
関係会社株式売却益	—	2,675
その他	1,587	815
特別利益合計	16,596	35,340
特別損失		
固定資産除却損	1,487	366
固定資産売却損	353	106
投資有価証券評価損	44	661
投資有価証券売却損	274	6
関係会社株式売却損	—	45,338
その他	6,599	5,011
特別損失合計	8,759	51,489
税金等調整前四半期純利益	65,981	63,080
法人税等	23,690	△30,822
四半期純利益	42,291	93,902
非支配株主に帰属する四半期純利益	8,464	10,494
親会社株主に帰属する四半期純利益	33,826	83,408

四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年6月30日)
四半期純利益	42,291	93,902
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△23,290	6,499
繰延ヘッジ損益	△7,597	1,099
土地再評価差額金	61	—
為替換算調整勘定	△20,295	104,167
退職給付に係る調整額	1,220	1,279
持分法適用会社に対する持分相当額	△15,969	4,277
その他の包括利益合計	△65,871	117,324
四半期包括利益	△23,580	211,226
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△20,624	199,658
非支配株主に係る四半期包括利益	△2,955	11,568

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年6月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	65,981	63,080
減価償却費	39,336	36,206
のれん償却額	11,508	11,156
受取利息及び受取配当金	△3,281	△3,006
持分法による投資損益(△は益)	△6,668	△7,235
支払利息	7,281	4,580
固定資産売却益	△7,922	△31,649
固定資産除売却損	1,457	348
投資有価証券売却益	△7,086	△198
関係会社株式売却益	—	△2,675
関係会社株式売却損	—	45,338
売上債権の増減額(△は増加)	60,022	64,861
たな卸資産の増減額(△は増加)	2,713	△2,431
仕入債務の増減額(△は減少)	△12,780	△17,467
未払酒税の増減額(△は減少)	△30,899	△27,085
未払消費税等の増減額(△は減少)	△11,930	△6,080
預り金の増減額(△は減少)	△19,364	△18,062
その他	△11,436	△1,585
小計	76,931	108,091
利息及び配当金の受取額	8,705	9,157
利息の支払額	△5,070	△3,489
法人税等の支払額	△13,084	△23,178
営業活動によるキャッシュ・フロー	67,481	90,581
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形及び無形固定資産の取得による支出	△47,124	△39,474
有形及び無形固定資産の売却による収入	16,883	44,528
有価証券及び投資有価証券の取得による支出	△5,541	△10,872
有価証券及び投資有価証券の売却による収入	14,270	7,330
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による収入	—	86,158
貸付金の回収による収入	—	16,300
その他	686	△2,140
投資活動によるキャッシュ・フロー	△20,824	101,830

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年6月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	13,873	17,532
コマーシャル・ペーパーの増減額 (△は減少)	—	△45,000
長期借入れによる収入	23,597	—
長期借入金の返済による支出	△60,475	△18,919
自己株式の取得による支出	△26	△43
配当金の支払額	△17,338	△18,250
非支配株主への配当金の支払額	△5,192	△5,639
その他	△1,253	△7,132
財務活動によるキャッシュ・フロー	△46,814	△77,452
現金及び現金同等物に係る換算差額	△3,054	△5,950
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△3,212	109,009
現金及び現金同等物の期首残高	60,336	57,725
連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△10	△478
現金及び現金同等物の四半期末残高	57,113	166,256



(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自平成28年1月1日至平成28年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	総合飲料			医薬・バイ オケミカル			
	日本	オセアニア	海外その他				
売上高							
外部顧客への売上高	533,063	206,221	86,554	170,635	11,674	—	1,008,149
セグメント間の 内部売上高又は振替高	1,155	69	124	3,421	425	△5,196	—
計	534,219	206,291	86,679	174,056	12,099	△5,196	1,008,149
セグメント利益又は損失(△)	20,713	25,253	△2,007	16,865	1,163	△3,170	58,818

(注) 1 「その他」の区分は、乳製品などの食品事業等を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額△3,170百万円には、セグメント間取引消去354百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△3,524百万円が含まれております。全社費用は、主に純粋持株会社である当社において発生するグループ管理費用であります。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成29年1月1日至平成29年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	総合飲料			医薬・バイ オケミカル			
	日本	オセアニア	海外その他				
売上高							
外部顧客への売上高	525,904	183,698	69,719	172,223	10,200	—	961,745
セグメント間の 内部売上高又は振替高	1,380	20	4	3,461	381	△5,248	—
計	527,284	183,718	69,723	175,685	10,581	△5,248	961,745
セグメント利益	30,806	20,784	4,890	25,681	911	△3,276	79,797

(注) 1 「その他」の区分は、乳製品などの食品事業等を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△3,276百万円には、セグメント間取引消去190百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△3,467百万円が含まれております。全社費用は、主に純粋持株会社である当社において発生するグループ管理費用であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

重要な発生及び変動はありません。

(追加情報)

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を第1四半期連結会計期間から適用しております。

# 2017年第2四半期決算 補足説明資料

1. 連結損益計算書サマリー・指標等
2. 売上高明細
3. 利益増減明細
4. 連結貸借対照表サマリー
5. 連結キャッシュ・フロー計算書サマリー
6. その他情報

キリンホールディングス株式会社

2017年8月3日

## 1. 連結損益計算書サマリー・指標等

## (1) 損益計算書サマリー・指標等

(単位：億円)

	2017年 第2四半期 (実績)	2016年 第2四半期 (実績)	対前年増減	
売上高	9,617	10,081	△464	△4.6%
売上総利益	4,388	4,451	△62	△1.4%
販売費及び一般管理費	3,590	3,863	△272	△7.1%
営業利益	797	588	209	35.7%
営業外収益	116	136	△20	△14.7%
営業外費用	121	142	△21	△14.8%
経常利益	792	581	210	36.3%
特別利益	353	165	187	112.9%
特別損失	514	87	427	487.8%
税金等調整前四半期純利益	630	659	△29	△4.4%
法人税等	△308	236	△545	—
非支配株主に帰属する四半期純利益	104	84	20	24.0%
親会社株主に帰属する四半期純利益	834	338	495	146.6%
平準化EPS	75円	53円	22円	41.5%
売上高(酒税抜き)	8,279	8,739	△460	△5.3%
営業利益(のれん等償却前)	936	732	203	27.8%
営業利益率(対酒税抜き・のれん等償却前)	11.3%	8.4%		
平準化EBITDA	1,332	1,154	177	15.4%
EPS(のれん等償却前)	112円	59円	53円	89.8%

平準化EPS = 平準化四半期純利益 / 期中平均株式数

平準化四半期純利益 = 四半期純利益 + のれん等償却額 ± 税金等調整後特別損益

平準化EBITDA = 営業利益 + 減価償却費 + のれん償却額 + 持分法適用関連会社からの受取配当金

(2) 主要在外会社損益の為替換算レート及び取込期間

(単位：円)

	2017年 第2四半期 (実績)	2016年 第2四半期 (実績)
ライオン(豪ドル)	84.40	85.81
ブラジルキリン(ブラジルリアル)	36.04	30.81
ミャンマー・ブルワリー (ミャンマーチャット('000))	83.72	93.20

	2017年第2四半期(実績)	2016年第2四半期(実績)
ライオン	2016年10月～2017年3月	2015年10月～2016年3月
ミャンマー・ブルワリー		
サンミゲルビール		

2. 売上高明細

(単位：億円)

	2017年 第2四半期 (実績)	2016年 第2四半期 (実績)	対前年増減	
			増減額	増減率
売上高	9,617	10,081	△464	△4.6%
日本総合飲料	5,259	5,330	△71	△1.3%
キリンビール	3,121	3,125	△4	△0.1%
キリンビバレッジ	1,578	1,676	△98	△5.9%
メルシャン	307	310	△3	△1.3%
その他・内部取引消去	252	217	35	16.2%
海外総合飲料	2,534	2,927	△393	△13.4%
ライオン	1,837	2,062	△225	△10.9%
ブラジルキリン	315	507	△191	△37.8%
ミャンマー・ブルワリー	132	122	10	8.3%
その他・内部取引消去	248	234	13	5.9%
医薬・バイオケミカル	1,722	1,706	15	0.9%
協和発酵キリン	1,756	1,740	16	0.9%
医薬	1,352	1,318	34	2.6%
バイオケミカル	404	422	△17	△4.2%
その他・内部取引消去	△34	△34	△0	—
その他	102	116	△14	△12.6%

<参考> 酒税売上高

(単位：億円)

	2017年 第2四半期 (実績)	2016年 第2四半期 (実績)
キリンビール	1,845	1,840

3. 利益増減明細

(1) 営業利益

(単位：億円)

	2017年 第2四半期 (実績)	2016年 第2四半期 (実績)	対前年増減
営業利益	797	588	209
日本総合飲料	308	207	100
キリンビール	283	240	42
キリンビバレッジ	126	59	67
メルシャン	21	14	6
その他 ※	△122	△107	△15
海外総合飲料	256	232	24
ライオン(連結組替後)	279	324	△45
のれん償却額	△55	△55	0
ブランド償却費	△16	△16	0
計	207	252	△44
ブラジルキリン(連結組替後)	△8	△70	62
ブランド償却費	△1	△3	1
計	△10	△74	64
ミャンマー・ブルワリー(連結組替後)	59	52	6
のれん償却額	△8	△8	0
ブランド償却費	△7	△8	0
計	43	35	7
その他	15	18	△2
医薬・バイオケミカル	256	168	88
協和発酵キリン(連結組替後)	256	168	88
医薬	207	116	90
バイオケミカル	33	34	△1
その他・のれん償却額消去	47	47	△0
のれん償却額	△30	△30	—
その他	9	11	△2
全社費用・セグメント間取引消去	△32	△31	△1

※ 持株会社の費用及びその他構成会社の損益を含んでおります。

主な営業利益増減内容

(単位：億円)

会社名	要因	対前年増減	内容
キリンビール	酒類等限界利益増	7	ビール販売数量減 $\Delta 5$ 千kl $\Delta 6$ 億
			発泡酒販売数量減 $\Delta 2$ 千kl $\Delta 2$ 億
			新ジャンル販売数量減 $\Delta 12$ 千kl $\Delta 13$ 億
			R T D販売数量増 10千kl 11億 他
	原材料費減	16	原料費減 9億、包材費減 7億
販売費減	28	販売促進費減 25億、広告費減 7億 (483億→450億) 他 (ビール・発泡酒・新ジャンル 43億 他)	
その他費用増	$\Delta 9$	減価償却費増 $\Delta 4$ 億 他	
計		42	
キリンビバレッジ	清涼飲料限界利益増	32	販売数量減 $\Delta 83$ 万ケース $\Delta 4$ 億
			商品・容器構成差異等 36億
	原材料費等減	21	原料費減 3億、包材費減 11億、 加工費減 6億
	販売費減	11	販売促進費減 21億、広告費増 $\Delta 9$ 億 (計 172億→160億)
その他費用減	2		
計		67	



(2) 経常利益、四半期純利益

(単位：億円)

	2017年 第2四半期 (実績)	2016年 第2四半期 (実績)	対前年増減	増減内容
営業外損益	△5	△6	1	現地持分損益 15億 他
金融収支	△15	△40	24	
持分法による投資損益	72	66	5	
サンミゲルビール	65	48	16	
その他	7	18	△11	
為替差損益	△49	△44	△4	
その他	△12	11	△24	
経常利益	792	581	210	
特別損益	△161	78	△239	ブラジル麒麟売却 451億 他
特別利益	353	165	187	
固定資産売却益	316	79	237	
投資有価証券売却益	1	70	△68	
関係会社株式売却益	26	—	26	
その他	8	15	△7	
特別損失	△514	△87	△427	
固定資産除却損	△3	△14	11	
固定資産売却損	△1	△3	2	
投資有価証券評価損	△6	△0	△6	
投資有価証券売却損	△0	△2	2	
関係会社株式売却損	△453	—	△453	
その他	△50	△65	15	
法人税等	308	△236	545	
非支配株主に帰属する四半期純利益	△104	△84	△20	
親会社株主に帰属する四半期純利益	834	338	495	

4. 連結貸借対照表サマリー

(単位：億円)

	2017年 第2四半期末	2016年 期末	増減額	増減内容
流動資産	8,098	7,481	616	
現金及び預金	1,677	589	1,088	
受取手形及び売掛金	3,098	3,935	△836	・前年度末が休日による減少及び連結子会社売却による減少 他
棚卸資産	1,951	2,076	△124	
その他	1,370	880	489	・連結子会社売却による増加 他
固定資産	14,518	16,000	△1,481	
有形固定資産	6,027	7,052	△1,024	・連結子会社売却による減少 他
無形固定資産	3,760	4,019	△258	
のれん	2,296	2,289	7	
その他	1,463	1,729	△265	
投資その他の資産	4,731	4,929	△197	
資産合計	22,616	23,481	△865	
流動負債	5,487	6,503	△1,015	
支払手形及び買掛金	1,040	1,358	△317	・連結子会社売却による減少 他
有利子負債	1,739	1,349	390	・社債及び長期借入金の長短振替による増加及びCP償還による減少 他
その他	2,707	3,796	△1,088	・前年度末が休日による未払酒税の減少及び連結子会社売却による減少 他
固定負債	5,819	7,517	△1,697	
有利子負債	3,977	5,137	△1,159	・社債及び長期借入金の長短振替による減少 他
その他	1,842	2,379	△537	・連結子会社売却による減少 他
負債合計	11,307	14,020	△2,712	
株主資本	7,942	7,289	652	
その他の包括利益累計額	676	△482	1,159	・連結子会社売却による増加 他
新株予約権	5	5	0	
非支配株主持分	2,684	2,648	35	
純資産合計	11,308	9,460	1,847	
負債純資産合計	22,616	23,481	△865	

5. 連結キャッシュ・フロー計算書サマリー

(1) キャッシュ・フロー計算書サマリー

(単位：億円)

	2017年 第2四半期 (実績)	2016年 第2四半期 (実績)	対前年増減
営業活動によるキャッシュ・フロー	905	674	230
税金等調整前当期純利益	630	659	△29
減価償却費	362	393	△31
のれん償却額	111	115	△3
その他	△198	△493	294
投資活動によるキャッシュ・フロー	1,018	△208	1,226
固定資産の取得	△394	△471	76
その他	1,413	262	1,150
財務活動によるキャッシュ・フロー	△774	△468	△306
有利子負債の増減額	△463	△230	△233
配当金の支払額	△238	△225	△13
その他	△71	△12	△58
換算差額等	△59	△30	△28
現金及び現金同等物の増減額	1,090	△32	1,122

(2) セグメント別情報

2017年第2四半期実績

(単位：億円)

	日本 総合飲料	海外 総合飲料	医薬・バイ オケミカル	その他	調整額	合計
減価償却費	123	101	107	3	△0	335
ブランド償却費	—	26	—	—	—	26
のれん償却額	0	63	46	—	—	111
固定資産の取得	184	127	90	8	△15	394
平準化EBITDA	432	509	410	12	△32	1,332

2016年第2四半期実績

(単位：億円)

	日本 総合飲料	海外 総合飲料	医薬・バイ オケミカル	その他	調整額	合計
減価償却費	110	131	116	4	1	363
ブランド償却費	—	29	—	—	—	29
のれん償却額	0	64	49	—	—	115
固定資産の取得	109	144	157	20	39	471
平準化EBITDA	318	516	334	15	△30	1,154

6. その他情報

(1) 主要な開示連結会社損益 (連結組替後)

2017年第2四半期実績

<連結子会社>

(単位：億円)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	連結純利益
協和発酵キリン	1,756	241	220	136	72
のれん償却額消去		46	46	46	24
のれん償却額		△30	△30	△30	△30
連結取込計	1,756	256	235	152	65

<持分法適用関連会社>

(単位：億円)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	連結純利益
サンミゲルビール	1,202	340	315	216	104
現地持分損益			104	104	104
ブランド償却費			△9	△9	△9
のれん償却額			△30	△30	△30
連結取込計			65	65	65

(2) 主要事業会社 売上明細

① キリンビール

	2017年 第2四半期		2016年 第2四半期	
	実績	対前年増減	実績	対前年増減
売上数量	千KL	%	千KL	%
ビール	283	△1.6	288	△1.4
発泡酒	216	△1.0	219	△8.4
新ジャンル	257	△4.4	269	△10.7
計	758	△2.4	777	△6.8
RTD	146	7.6	136	4.5
ノンアルコール飲料	18	48.7	12	△0.7
売上高	億円	%	億円	%
ビール	1,186	△1.6	1,205	△0.8
発泡酒	659	△0.9	666	△8.4
新ジャンル	672	△4.4	703	△10.9
計	2,518	△2.2	2,574	△5.7
RTD	402	7.3	374	3.9
洋酒・その他	200	14.0	176	11.4
売上高計	3,121	△0.1	3,125	△3.8

上記売上数量は受託製造及び輸出分を除く

② キリンビバレッジグループ

	2017年 第2四半期		2016年 第2四半期	
	実績	対前年増減	実績	対前年増減
カテゴリー別	万ケース	%	万ケース	%
紅茶	2,494	3.1	2,418	10.0
日本茶	1,420	16.8	1,216	29.1
コーヒー飲料	1,468	△2.5	1,506	6.4
果実・野菜飲料	1,183	△7.7	1,282	0.8
炭酸飲料	999	△11.4	1,127	3.5
健康・スポーツ飲料	418	15.2	363	7.1
水	1,872	△6.5	2,002	13.4
その他	762	△3.1	※ 786	△1.6
計	10,616	△0.8	10,700	9.0
容器別				
缶	1,896	△3.1	1,956	11.5
大型PET (2L, 1.5L等)	3,495	△0.1	3,498	10.5
小型PET (500ml, 280ml等)	4,239	0.0	4,237	7.3
その他	986	△2.3	※ 1,009	5.8
計	10,616	△0.8	10,700	9.0

※2017年連結除外の製造子会社受託販売分を除く

## 2017年通期業績予想 補足説明資料

1. 連結損益計算書サマリー・指標等
2. 売上高明細
3. 利益増減明細
4. セグメント別情報
5. その他情報

麒麟ホールディングス株式会社  
2017年8月3日

1. 連結損益計算書サマリー・指標等

(1) 損益計算書サマリー・指標等

(単位：億円)

	2017年 通期 (期央予想)	2016年 通期 (実績)	期央対前年増減		2017年 通期 (6/1修正)	期央対修正 増減
売上高	19,700	20,750	△1,050	△5.1%	19,800	△100
営業利益	1,520	1,418	101	7.1%	1,460	60
営業外損益	40	△12	52	—		
金融収支	△40	△78	38	—		
持分法による投資損益	140	118	21	18.2%		
経常利益	1,560	1,406	153	10.9%	1,550	10
特別損益	△270	400	△670	—		
税金等調整前当期純利益	1,290	1,807	△517	△28.6%		
法人税等	△20	470	△490	—		
非支配株主に帰属する 当期純利益	170	155	14	9.6%		
親会社株主に帰属する当期純利益	1,140	1,181	△41	△3.5%	1,120	20
ROE (のれん等償却前)	18.6%	21.9%				
平準化EPS	137円	125円	12円	9.6%		
売上高 (酒税抜き)	16,740	17,790	△1,050	△5.9%		
営業利益 (のれん等償却前)	1,793	1,699	94	5.6%		
営業利益率 (対酒税抜き・のれん等償却前)	10.7%	9.6%				
平準化EBITDA	2,560	2,530	29	1.2%		
EPS (のれん等償却前)	166円	172円	△6円	△3.5%		
純有利子負債/平準化EBITDA	1.39	2.33				

平準化EPS = 平準化当期純利益 / 期中平均株式数

平準化当期純利益 = 当期純利益 + のれん等償却額 ± 税金等調整後特別損益

平準化EBITDA = 営業利益 + 減価償却費 + のれん償却額 + 持分法適用関連会社からの受取配当金

(2) 主要在外会社損益の為替換算レート及び取込期間

(単位：円)

	2017年 通期 (期央予想)	2016年 通期 (実績)	2017年 通期 (6/1修正)
ライオン (豪ドル)	84.00	82.33	82.00
ブラジルキリン (ブラジルリアル)	36.04	31.83	36.04
ミャンマー・ブルワリー (ミャンマーチャット('000))	85.00	90.62	85.00

	2017年通期 (期央予想)	2016年通期 (実績)
ライオン	2016年10月～2017年9月	2015年10月～2016年9月
ミャンマー・ブルワリー		
サンミゲルビール		



## 2. 売上高明細

(単位：億円)

	2017年 通期 (期央予想)	2016年 通期 (実績)	期央対前年増減		2017年 通期 (6/1修正)	期央対修正 増減
売上高	19,700	20,750	△1,050	△5.1%	19,800	△100
日本総合飲料	11,630	11,532	97	0.8%	11,700	△70
麒麟ビール	6,927	6,845	81	1.2%	7,061	△134
麒麟ビバレッジ	3,458	3,546	△88	△2.5%	3,497	△39
メルシャン	654	663	△9	△1.4%	661	△7
その他・内部取引消去	590	477	113	23.8%	479	110
海外総合飲料	4,480	5,614	△1,134	△20.2%	4,500	△20
ライオン	3,447	3,726	△279	△7.5%	3,498	△50
ブラジル麒麟	315	1,179	△863	△73.2%	315	—
ミャンマー・ブルワリー	243	224	18	8.5%	243	—
その他・内部取引消去	473	483	△10	△2.1%	442	30
医薬・バイオケミカル	3,390	3,357	32	1.0%	3,360	30
協和発酵麒麟	3,470	3,430	39	1.2%	3,440	30
医薬	2,660	2,625	34	1.3%	2,630	30
バイオケミカル	810	805	4	0.6%	810	—
その他・内部取引消去	△80	△72	△7	—	△80	—
その他	200	246	△46	△18.8%	240	△40

## &lt;参考&gt;酒税抜売上高

(単位：億円)

	2017年 通期 (期央予想)	2016年 通期 (実績)	2017年 通期 (6/1修正)
麒麟ビール	4,111	4,022	4,166

## 3. 利益増減明細

(単位：億円)

	2017年 通期 (期央予想)	2016年 通期 (実績)	期央対前年 増減	2017年 通期 (6/1修正)	期央対年修正 増減
営業利益	1,520	1,418	101	1,460	60
日本総合飲料	695	672	22	675	20
キリンビール	721	698	22	721	—
キリンビバレッジ	200	172	27	180	20
メルシャン	32	36	△3	22	10
その他 ※	△259	△235	△23	△249	△10
海外総合飲料	465	433	31	460	5
ライオン(連結組替後)	525	567	△41	512	12
のれん償却額	△109	△107	△2	△106	△2
ブランド償却費	△32	△31	△0	△31	△0
計	383	428	△44	374	8
ブラジルキリン(連結組替後)	△8	△83	75	△8	—
ブランド償却費	△1	△7	5	△1	—
計	△10	△90	80	△10	—
ミャンマー・ブルワリー (連結組替後)	88	88	△0	88	—
のれん償却額	△16	△17	1	△16	—
ブランド償却費	△15	△16	1	△15	—
計	56	54	2	56	—
その他	35	41	△5	39	△3
医薬・バイオケミカル	420	347	72	380	40
協和発酵キリン(連結組替後)	420	347	72	380	40
医薬	330	263	66	290	40
バイオケミカル	60	53	6	60	—
その他・のれん償却額消去	91	92	△1	91	—
のれん償却額	△61	△61	△0	△61	—
その他	10	33	△23	20	△10
全社費用・セグメント間取引消去	△70	△67	△2	△75	5

※ 持株会社の費用及びその他構成会社の損益を含んでおります。

主な営業利益増減内容

(単位：億円)

会社名	要因	対前年増減	内容
キリンビール	酒類等限界利益増	59	ビール販売数量減 $\Delta 11$ 千kl $\Delta 14$ 億 発泡酒販売数量減 $\Delta 9$ 千kl $\Delta 10$ 億 新ジャンル販売数量増 7千kl 8億 RTD販売数量増 28千kl 30億 他
	原材料費減	26	原材料費減
	販売費増	$\Delta 7$	販売促進費・広告費(963億→963億) 他
	その他費用増	$\Delta 56$	減価償却費増、電力・燃料費増 他
	計	22	
キリンビバレッジ	清涼飲料限界利益増	35	販売数量減 $\Delta 132$ 万ケース $\Delta 6$ 億 商品・容器構成差異等 41億
	原材料費等減	7	原料費増 $\Delta 8$ 億、包材費減 10億 加工費減 5億
	販売費増	$\Delta 13$	販売促進費増 $\Delta 7$ 億、広告費増 $\Delta 6$ 億(計 396億→409億)
	その他費用増	$\Delta 1$	
計	27		

4. セグメント別情報

2017年通期予想

(単位：億円)

	日本 総合飲料	海外 総合飲料	医薬・バイ オケミカル	その他	調整額	合計
減価償却費	251	171	219	5	1	648
ブランド償却費	—	51	—	—	—	51
のれん償却額	1	125	95	—	—	222
固定資産の取得	300	310	220	20	—	850
平準化EBITDA	947	931	734	15	△68	2,560

2016年通期実績

(単位：億円)

	日本 総合飲料	海外 総合飲料	医薬・バイ オケミカル	その他	調整額	合計
減価償却費	230	246	230	9	0	717
ブランド償却費	—	57	—	—	—	57
のれん償却額	1	126	95	—	—	223
固定資産の取得	262	346	302	41	△3	950
平準化EBITDA	904	977	673	43	△67	2,530

5. その他情報

(1) 主要のれん等償却情報

2017年通期予想

(単位：億円)

	取得年	のれん等償却額合計 ①+②						合計	
		のれん			ブランド				
		償却額①	未償却 残高	残年数	償却額② ※	未償却 残高	残年数		
連結子会社	ライオン	1998~ 2012	109	998	9	32	239	1~15	141
	協和発酵キリン	2007	61	629	11	—	—	—	61
	ブラジルキリン	2011	—	—	—	1	—	—	1
	ミャンマー・ブルワリー	2015	16	247	15	15	236	15	32
	その他		34	283	—	1	15	—	36
	連結子会社計		222	2,159		51	492		273
持分法	サンミゲルビール	2009	60	694	12	19	219	12	79
	華潤麒麟飲料	2011	21	307	14	—	—	—	21
	持分法適用関連会社計		82	1,001		19	219		101
	合計		304	3,160		70	711		375

※ 科目：減価償却費

(2) 主要事業会社 売上明細

① キリンビール

	2017年 通期		2016年 通期	
	予想	対前年増減	実績	対前年増減
売上数量	千KL	%	千KL	%
ビール	638	△1.5	648	△1.8
発泡酒	461	△1.8	470	△6.2
新ジャンル	585	1.3	578	△8.7
計	1,685	△0.8	1,698	△5.5
RTD	322	10.3	292	3.7
ノンアルコール飲料	45	73.1	26	△9.0
売上高	億円	%	億円	%
ビール	2,669	△1.9	2,721	△1.3
発泡酒	1,401	△2.1	1,432	△6.1
新ジャンル	1,533	1.6	1,510	△9.1
計	5,605	△1.0	5,664	△4.7
RTD	886	9.7	808	3.5
洋酒・その他	435	17.1	372	7.6
売上高計	6,927	1.2	6,845	△3.2

上記売上数量は受託製造及び輸出分を除く

② キリンビバレッジグループ

	2017年 通期		2016年 通期	
	予想	対前年増減	実績	対前年増減
カテゴリー別	万ケース	%	万ケース	%
紅茶	5,350	1.6	5,264	9.5
日本茶	3,230	12.3	2,877	40.1
コーヒー飲料	3,240	0.2	3,234	3.4
果実・野菜飲料	2,380	△12.9	2,731	3.5
炭酸飲料	1,890	△18.3	2,312	△4.4
健康・スポーツ飲料	1,090	20.8	902	18.5
水	4,070	△2.4	4,168	6.8
その他	1,950	5.7	※ 1,844	1.0
計	23,200	△0.6	23,332	8.3
容器別				
缶	4,132	△0.9	4,169	6.4
大型PET (2L, 1.5L等)	7,368	△3.3	7,617	9.3
小型PET (500ml, 280ml等)	9,465	1.6	9,320	8.8
その他	2,235	0.4	※ 2,226	7.2
計	23,200	△0.6	23,332	8.3

※2017年連結除外の製造子会社受託販売分を除く